

食と農の未来を考えるシンポジウム

日本の食を支える 発酵の不思議

参加無料:定員1,000名

当日先着
100名様に、
素敵なプレゼントを
差し上げます!

日時

2011年11月26日(土)
13:30~16:15

場所

東京農業大学
百周年記念講堂



私たちの食卓に欠かせない発酵食品。日本の風土に根付いた食文化の魅力を探り、
これからの日本の食について考えます。

第1部

「発酵食品の魅力」

講演 東京農業大学 応用生物科学部
醸造科学科 教授

小泉 幸道氏

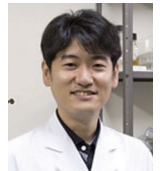


発酵って何? どんな食品があるの? 私たちにとって身近な
発酵食品。その魅力を分かりやすくお話します。

「味の不思議」

講演 東京農業大学 応用生物科学部
醸造科学科 准教授

前橋 健二氏



子どもと大人の味覚の違い、日本人の味覚や、味に関する
面白くてためになるお話、お教えします。

第2部

「発酵食品— 日本料理との おいしい関係」

講演 近茶流嗣家

柳原 尚之氏

料理研究者としても活躍中の
柳原尚之先生が、伝統的な食材
を使った日本料理について語り
ます。



トークセッション

「子どもたちに伝えたい食の知恵」

日本人の食生活には、食材を上手に活かすとても豊かな
知恵があります。これらを子どもたちにどう伝えてい
くか。これからの食について考えます。

MC NPO法人農業情報
総合研究所 理事長
エフエム世田谷
「農と語るニッポン!」
パーソナリティ

植村 春香氏

パネリスト 小泉 幸道氏
前橋 健二氏
柳原 尚之氏
小野 久枝氏
(野菜農家)

詳しくは <http://www.kyodo.co.jp/agrisympo2011/>

主催 食と農の研究ネット (JAグループ・共同通信社)

後援 世田谷区・東京農業大学・LaLa TV・エフエム世田谷

お問い合わせ

〒105-7208 東京都港区1-7-1 汐留メディアタワー
共同通信社「食と農の研究ネット」事務局
TEL.03-6252-6031

裏面も
ご覧ください。

日本の食を支える発酵の不思議

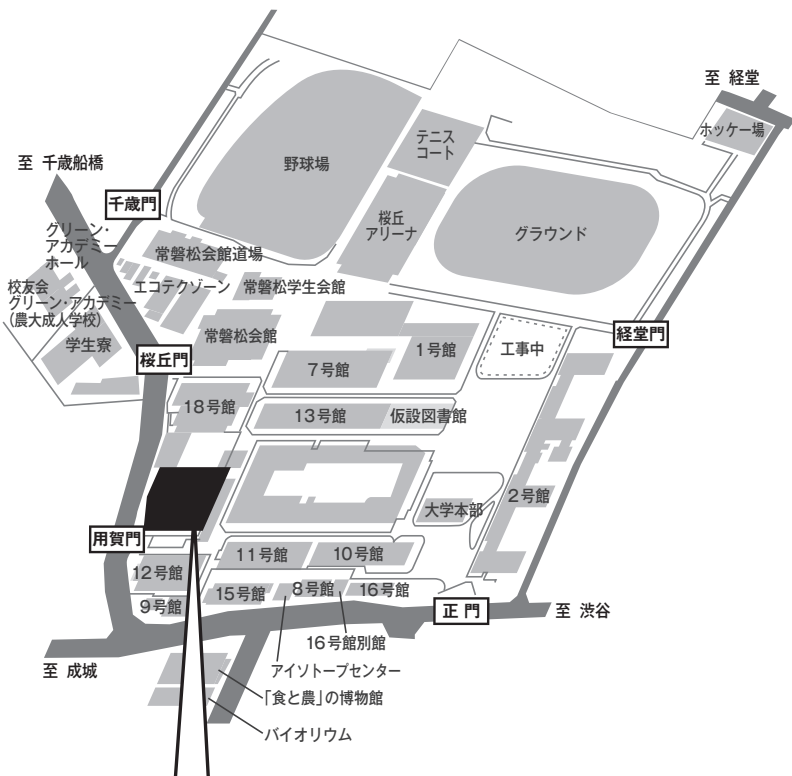
アクセス

住所：〒156-8502
東京都世田谷区桜丘1-1-1

電話：03-5477-2207(総務課)

交通：●小田急小田原線「経堂駅」徒歩15分

- 小田急小田原線「千歳船橋駅」徒歩15分
またはバス渋谷駅行き・等々力行き、
農大前下車
- 東急田園都市線「用賀駅」徒歩20分
またはバス世田谷区民会館行き・
祖師ヶ谷大蔵駅行き、農大前下車



百周年記念講堂(17号館)

登壇者プロフィール



小泉 幸道 (こいずみ・ゆきみち)

東京農業大学 応用生物科学部 醸造科学科 教授

1951年神奈川県生まれ。73年東京農業大学農学部醸造学科卒業。97年より現職。専門は発酵食品学。発酵食品の科学的な成分変化と機能性に関する研究を行う。87年日本缶詰協会逸見賞受賞、2002・09年日本農芸化学会論文賞受賞。食と農の博物館館長。テレビや雑誌、ラジオなどでも活躍中。著書に『NHKあさイチ 驚きの効果 ハチミツ&酢のパワー (生活実用シリーズ)』(日本放送出版協会)、『酢が効く』(学習研究社)などがある。



前橋 健二 (まえはし・けんじ)

東京農業大学 応用生物科学部 醸造科学科 准教授

1969年千葉県生まれ。94年東京農業大学農学研究科醸造学専攻修士課程修了。東京農業大学応用生物科学部醸造科学科助手を経て、現在准教授。調味食品科学研究室に所属、豊かな食生活を支える調味料について研究している。テレビなどでも活躍中。



柳原 尚之 (やなぎはら・なおゆき)

近茶流嗣家

1979年東京都生まれ。2001年東京農業大学農学部醸造学科卒業後、小豆島の醤油会社マルキン忠勇の研究者として勤務。02年オランダ船籍の帆船スワンファンマツカム号のキッチンクルーを務める。03年より父・近茶流宗家 柳原一成氏とともに、柳原料理教室にて、日本料理、茶懐石の研究指導にあたる。テレビ、雑誌などでも広く活躍中。著書に『近茶流 柳原尚之の男が食べたいごはん! 白飯に合うおかず』(ゴマブックス)などがある。



小野 久枝 (おの・ひさえ)

野菜農家

1960年東京都生まれ。東京都小平市で家族と共に野菜や果物を作り、「にごりや」のブランドで自家製の漬け物、ジャム、シフォンケーキなどの製造、JA東京むさしの直売所などで販売している。2010年12月、都内で採れる農林水産物を使用した料理コンクールの一般の部で、「小平の恵みたっぷりだんご」が最優秀賞を受賞。



植村 春香 (うえむら・はるか)

NPO法人農業情報総合研究所 理事長

大阪府生まれ。2004年5月から、エフエム世田谷「農といえるニッポン!」企画・制作・パーソナリティを担当。ラジオ番組を通じて農・食・環境についての情報を発信。消費者と生産者の相互理解を深める活動を目的に、05年11月NPO法人農業情報総合研究所を設立。06年から東京農業大学醸造科学科の協力で、醸造、発酵食品について情報を発信している。「食と農の博物館」運営委員。

Webの申し込み先

<http://www.kyodo.co.jp/agrisympo2011/>

FAXお申し込み用紙

氏名	参加人数
住所(参加証送付先) 〒	
メールアドレス	

FAX番号

03-6252-6037

(共同通信 食と農の研究ネット)

お寄せいただいた個人情報は、共同通信社が適切に管理し、このイベントの連絡のみに使用します。